

がん教育出前講座

札幌市医師会
KKR札幌医療センター

磯部 宏

北海道保健福祉部から、小学生を対象としたがんに関する出前講座を依頼されました。これは児童・生徒を対象に、がんの予防や早期発見に関する教育講演として行われるものです。当日、小学校に出向き、5年生全員の前で約30分間の講義です。「がんという病気はどんなイメージがあるかな？」から始まり、日本人の死亡原因の第1位であることなどを話します。次いで、細胞の設計図ミスでがん細胞は生まれること、私たちの身体にはそれをしっかり修復する仕組みがあること、そのミスを見逃してしまうとがんが発症することを伝えます。その後がいよいよ本題です。大量の飲酒や過剰の塩分摂取でがんになりやすいことをクイズ形式で話します。メインは喫煙です。質問は「他人のたばこのけむりをすうと、肺がんの危険性が高くなる？」です。さすがにほとんどの子どもたちが正解ですと手を挙げます。未成年者ですから、喫煙の害よりも受動喫煙の害をまずは強調しています。もちろん煙草を吸うことで、その人のがん発症率が高くなることも話します。最後にがん検診も重要ですから、子どもたちからご家族に勧めてくださいと伝えています。これらの予防によって、がんも怖い病気ではなくなってきましたよと伝えています。

次の質問タイムは楽しいです。どんどん手が挙がります。「電子たばこはどうなんですか？」「ノンアルコール・ビールはダメなんですか？」等々…。時間いっぱい質問を受けたら、その後は家族へのメッセージカードの記載です。後日、「お父さん、長生きして欲しいから、たばこやめてね！」というカードが自宅に郵送されます。

大人のための市民公開講座とは全く趣を異にしています。禁煙や検診の重要性を話していますが、それがどの程度行動に結びついているのか気がかりでした。ましてや、ご家族にも今日の話伝えてくださいねと付け加えてもどこまで伝わっているのか。しかし、子どもたちの真剣な目の輝きと、一生懸命考えながらカードに記載している姿は、これは手応えがあると感じてしまいます。大人への禁煙対策は困難だと以前より思っています。子どもたちに煙草を触れさせないことが大事だと考えていましたが、子どもたちを通しての禁煙対策、これはかなり有益だと感じました。これまでに2回行いましたが、どちらの小学校もとても楽しかったです。これからも依頼があればぜひお手伝いしたいと思っています。

佐和山城址を訪ねて

札幌市医師会
札幌南三条病院

本田 泰人

京都の紅葉観光の途次に、佐和山城址を訪ねてみました。だるま寺として有名な龍潭寺を観光したのですが、その境内から佐和山城址への登山道があります。あまり整備されていない人一人がようやく歩けるほどの細い険しい山道が続き、プチ登山の気分です。登山道には遺構らしきものは何もなく、ようやく登った山頂にも城址を示す石碑、看板があるくらいです。通常の城址には、石垣や天守台の礎石くらいは残っているものですが、佐和山城ではごく一部の石垣や土塁、曲輪、堀が見られるくらいで、その徹底的な破壊に戦慄すら覚えました。

佐和山城は、石田三成が城主となってからは5層の天守を構える立派な城だったといわれています。三成が関ヶ原の戦いで敗れた後は井伊直政が新しい城主になりましたが、彦根城築城と同時に佐和山城は廃城になっています。徳川幕府としても、憎んでも余りある三成の功績を抹殺したかっただしょうから、佐和山城の廃城は幕府も強く望んだこととされます。一般に、三成は横柄、傲慢、人望がないなど嫌われ者としてのイメージが広く流布し、このことは徳川幕府の正当性を高めることに役立ったはずですが、しかし、このような三成の人物像は正鶴を得たものなのではないでしょうか。歴史は勝者によって作られるといわれますが、実際の三成は善政を施し領民たちから慕われていたともいわれており、敗軍の将である三成はその人物像さえ歪められ、本当の姿とはかけ離れた伝わり方がされているのかもしれない。ちなみに、捕縛された三成は斬首の上で晒し首にもされています。

むごたらしい最期を迎えた人物としては、佐賀の乱に負け逆賊となり、正式な裁判を受けることもなく、やはり斬首、晒し首になった江藤新平も頭に浮かびます。江藤新平は、法治国家を目指し司法制度の整備に大きな功績を残した人物ですが、その正義感の強さからか政府高官の汚職事件を激しく追及し辞任に追い込んでいます。そのために、政府内にたくさんの敵を作ったことが、凄惨な刑を受けた一番の理由なのではないでしょうか。江藤新平も、いまだに正当な評価は受けていない人物と思われませんが、明治22年に西郷隆盛と一緒に復権できたことがせめてもの救いかもしれません。

佐和山城址に登って、石田三成から江藤新平まで連想してしまい、権力の恐ろしさを改めて感じた初老の歴史オタクでしたが、三成も眺めたであろう琵琶湖が一望できる山頂からの景色は壮観です。三成が嫌いできさなければ、ぜひ一度佐和山城址を訪ねて、遠い戦国の歴史に思いを馳せてはいかがでしょうか。